【小学部】

学級活動（人権）学習指導案

1　主題　防災について学ぼう　～学びがつながる～
2　主題設定の理由（省略）
3　ねらい
　① 防災センターでの体験や聞いた話を振り返り，災害時の対応について考えることができる。
　② 防災に対する意識を高め，災害時への備えや自分の身を守る方法について体験を通して教員とともに確認することができる。
4　指導計画
（１）これまでの学習
　・防災センターについて学ぼう・・・・・・・・・・・・・・・・２時間
　・防災センターへ行こう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３時間
　・防災センターでの体験を振り返ろう・・・・・・・・・・・・２時間
　・地震・津波避難訓練に参加しよう・・・・・・・・・・・・・・１時間
（２）現在の学習
　・防災紙芝居で学ぼう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５時間（本時３／５時間）
（３）これからの学習
　・地震の擬似体験をしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・２時間
5　本時の学習
（１）目標
　・防災センターでの体験や聞いた話を振り返り，災害時の対応について考えることができる。
　・防災に対する意識を高め，災害時への備えや自分の身を守る方法について体験を通して教員とともに確認することができる。
　・頭を守るために，防災頭巾を被ることを知るとともに，地震の音声を聞き，頭を守った姿勢のまま教員と共に落ち着いて過ごすことができる。
（２）普遍的な学習のテーマ・・・命の大切さ（自分の身を守る）
　　コミュニケーション力（話を聞いて活動を知る）
　　個別人権課題名・・・・・・災害時における人権問題
（３）展開

展開	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 （５分）	１　始まりのあいさつをする。 ・Ｂが発声で，「礼」の号令をかける。 ２　提示された紙芝居や防災頭巾を見ながら，教員の言葉かけで本時の内容を知る。	１　Ｂに言葉かけをし，教員が行う「姿勢」の合図に続けて，「礼」の発声をかけるよう促す。 ２　学習の見通しがもてるよう具体物の提示や簡単な言葉で伝える。	１　前に立つ教員に注目し，タイミングよく発声できる。 （技能的側面） ２　掲示された物に視線を向けることができる。 （知識的側面，技能的側面）
展開 (35 分)	３　防災紙芝居「あわてないあわてない」を視聴する。	３－１　落ち着いて紙芝居を視聴できるよう，提示の仕方を状況に合わせて変える。	３　教員や紙芝居の紙面に視線を向け，落ち着いて聞く

		３－２　Ａには，真正面に紙芝居の紙面を提示する。問いかけに対しては，タッチして応じられるように教員は手をＡの前にかざす。Ａが答えたことを教員が代弁して，Ｂに伝える。 ３－３　Ｂの気分が高ぶり集中することが難しくなった場合には，紙芝居を伏せるなどし，落ち着いて見るよう促す。問いかけには，発声で答えるように促す。教員が代弁して，Ａに伝える。	ことができる。 （価値的・態度的側面）
	４　防災センターへ行った時の映像をテレビやタブレット端末で見て，振り返る。 ・タブレット端末の場面の切り替えを教員と共に交替で行う。 ・起震体験に注目する。 ・地震が起きたときに防災頭巾を被ることを知る。 ・	４－１　Ａが映像に注目できるよう，テレビを正面に置く。 ４－２　Ｂには，落ち着いて視聴できるよう，タブレット端末の画面に視線が向くように提示する。 ４－３　交替でタブレット端末の画面に触れて場面を切り替えることを伝え，順番を決める。 ４－４　画面の切り替えは教員が児童の手を取って一緒に行い，スムーズな切り替えによって，すぐに変わる画面に注目できるようにする。 ４－５　起震体験の場面に注目するように体験したときの児童の様子を伝える。 ４－６　防災頭巾と教員用のヘルメットをロッカーより取り出し，地震が起きたときに被ることを伝え，ヘルメットを教員が実際に被ってみせる。	４－１　Ｂは指先の力をゆるめて，教員と一緒に人差し指でタブレット端末の画面に触れることができる。 ４－２　順番を待つことができる。 ４－３　起震体験の動画に視線を向けることができる。 ４－４　教員の動きや取り出す物に注目できる。 （価値的・態度的側面，技能的側面）
	５　地震の音声を聞いて，防災頭巾を被り，教員とともに身を守る協力体勢を取る。	５－１　地震が起きたときの音声を流し，臨場感をもたせる。 ５－２　「危ないから，防災頭巾を被るよ。」と言葉かけをしてから，防災頭巾を被らせる。 ５－３　教員から防災訓練が終わったことを知らせてから，防災頭巾を脱がせる。	５　終了の言葉かけまで落ち着いて防災頭巾を被ることができる。 （価値的・態度的側面）
まとめ （５分）	６　本時の振り返りをする。 ７　終わりのあいさつをする。 ・Ｂが発声で，「礼」の号令をかける。	６－１　本時の活動を具体物の提示とともに，簡潔な言葉で伝え，ふりかえる。よくできた活動をほめる。 ７　Ｂに言葉かけをし，教員が行う「姿勢」の合図に続けて，「礼」の発声をかけるよう促す。	６　教員に視線を向けることができる。（技能的側面） ７　前に立つ教員に注目し，タイミングよく発声できる。 （技能的側面）

※波線部分は学習活動全体における配慮事項